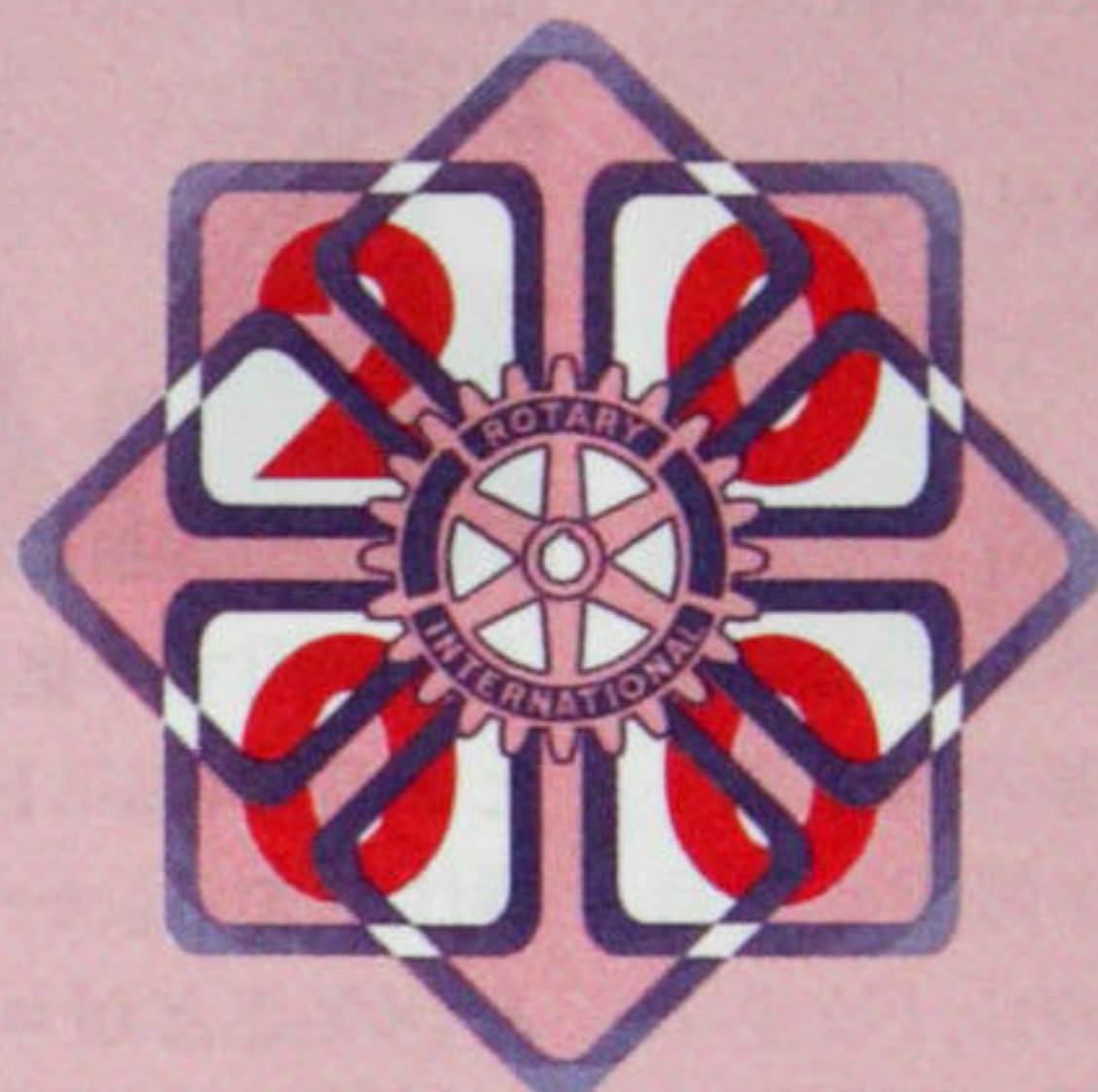


ROTARY 2000:
ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY



ロータリー2000:
活動は—堅実、
信望、持続

1999～2000年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——高木 貞一郎
会 長——長谷川 有 美
会長エレクト——斎藤 弘 文
副 会 長——五十嵐 昭 一
幹 事——藤 田 紘 一
副 幹 事——丸 山 行 彦
S A A——五十嵐 寿 一
副 S A A——荻根沢 隆 雄

例 会 日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
TEL 35-3477
事 務 局——FAX 32-7095

本日出席会員数	74名中 50名
先々週出席率	84.51%

ヴィジター

三条南より

長谷川晴雄さん、鈴木罔彦さん、
飯山勝義さん、渡辺一郎さん

先週のメイクアップ

11/22 東京麴町へ

林 光輝さん

11/28 新井40周年へ

長谷川有美さん、藤田紘一さん、
五十嵐寿一さん、丸山行彦さん

11/29 三条南へ

五十嵐晋三さん

11/30 三条北へ

渋谷健一さん



会長挨拶

長谷川有美会長



11月28日に新井ロータリー
クラブの40周年記念式典に
出席して来ました。高田R
Cをスポンサーとしてチャー
ターメンバー27名で設立さ
れました。99年6月末現在
で会員数55名、平均年令59

才のクラブです。記念事業として道の駅に緑化事業としてカロリナポプラとヨウコウザクラの苗木を、社会福祉法人にホームヘルパーの足として軽自動車を1台、日本ボーイスカウト新井にルーム型テント2張りを寄贈されました。楽しい40周年の式典でした。

お願いですが、重田P.Gから2560地区高木Gを通じて要請のありました、ポリオプラスの協力に付いて、ボックスを廻しますので、何卒お一人1,000円ずつの協力をお願い致します。

幹事報告

藤田紘一幹事

- ◎高崎セントラルRCより
認証状伝達式ご出席お礼状がとどいております。
- ◎第2560地区ローターアクト地区大会実行委員会より
ローターアクト地区大会ご出席お礼状がとどいております。
- ◎例会変更のお知らせ！
三条南RC—12月20日(月)
夫人同伴忘年会 於 おゝ乃
三条北RC—12月21日(火)
クリスマスパーティー 於 おゝ乃
加茂RC—12月16日(木) 夜の例会
見附RC—12月16日(木) 忘年会 於 太田家
燕RC—12月16日(木)
クリスマス家族会 於 第一グランドホテル
田上あじさいRC—12月21日(火)
忘年例会 於 湯田上カントリークラブ

ニコニコBOX



長谷川有美さん

11月28日(日)新井ロータリークラブ40周年式典に行ってきた。楽しい式典でした。

藤田紘一さん

新井ロータリークラブ40周年式典に出席してきました。

岩井数央さん

久しぶりの例会出席です。11月にマニラへ心霊治療ツアーに行ってきた。街を走る車も年々良くなっているようです。

榎本 勝さん

早引けさせていただきます。申し訳ありません。

細井増雄さん

最近あまり良いこともないのですが、良い年越しが出来ますように。

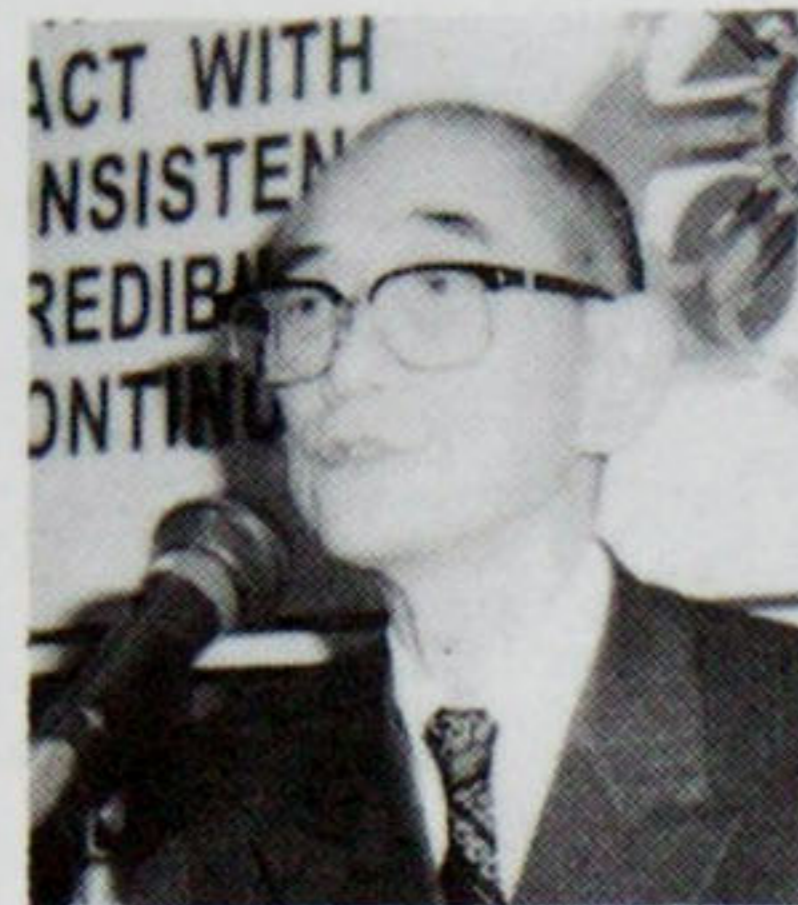
吉井俊介さん

ニコニコBOXの席へ勝手に移動してきましたので…。

12月1日分 ￥ 7,000
今年度累計 ￥311,000

「ポリオプラス協力について」

パストガバナー 藤田説量さん



私のガバナー年度1986年に世界の児童の病気をなんとか救ってあげたいとRIで会議を致しましてポリオプラス計画に協力することが決議されました。募金活動をしたのは私共の年度であります。これは5年間一人8千円ずつ集めるということでした。ロータリーというのは、1年毎にその会長が考えておる社会奉仕をする。一年を越えない様な社会奉仕をする。ということがロータリーのルールでした。それが5年間の長期計画ということで、大変論議が沸騰致しました。RIのその時の事務総長がロータリーのルールに反すると強硬に反対をした為に、時の会長にクビを切られ交代することがありました。ロータリーのルールをわきまえたロータリーアンはこぞって不満を持たれた。私がこの地区を回りましたところ、ロータリーに熱心の方ほどこのことに反対されました。地域の奉仕に付いては1年毎だが、世界的に大きな取組みをする仕事は1年ではできないから、5年の長期計画でやらざるを得ないと。ロータリーは世界の平和を訴えるけれどもそれでは何ができるのか。戦争を止めることもできないし、原爆を止めさせることもできない。せめて世界中の子供達が幸せに生きられる様に病気から解放してあげようではないか。と云うことで世界の平和の為に奉仕する一つの仕事としてこの事業が始まった訳です。ポリオプラス5というのはこの名前であったと思います。ファイブを抜いてポリオプラスの名前でこの運動が始まりました。ポリオというのは小児マヒでありますからハシカ、破傷風、百日ゼキ、結核、ジフテリア、子供達の大きな障害になる病気を全て無くすると云う大きな目標であります。このことに取組んだのは、WHOとユニセフであります。それとロータリーが協力してこの仕事をやろうと。ユニセフと云うのは、昭和21年に第二次大戦後の被害を受けた国々の子供達が栄養失調になったり、食糧不足に遭ったりとそういうものを救おうということで設立された機構であります。これの大きな恩恵を受けた中に日本があるわけで、終戦後の栄養不足、今我々が考えられない様な状態にありました。特に脱脂粉乳その他たくさんの食糧の配分を受けまして児童はもちろん大人達もこの恩恵を受けた訳です。

私がこの仕事をぜひやりたいと思ったのは、か

つてユニセフに助けられた日本の私達が恩返しできるのはこの一つであろうと。ガバナー同志で話し合いました協力することに致しました。各ロータリークラブを公式訪問致しまして私の話はロータリーの基本的な話よりも、このポリオプラスの協力依頼が大きな仕事でありました。協力を得て結局日本では40余億円集めた筈です。そして資金が十分に集まったのでポリオが撲滅することは疑いないとの報告がRIでありました。私も表彰状をもらいました。一番先に恩恵を受けたのはフィリピンであります。時のRI会長はカパラスと云うフィリピンの人でした。その年のテーマ、「ロータリーは幸せをもたらす」ということが彼のテーマでありました。非常に効果があったわけです。しかし実施することが困難であるということが起こってまいりました。日本の山田さんという池袋のロータリーアンですがインドで実際に投与する為に何度も往復をしておられました。ガッチリした健康な人でした。「体を鍛えているから大丈夫だ」と云っておられました。1年もしないうちに風土病で亡くなられました。それぐらい協力すると云っても命がけでかからなければならなかったのです。それから行き届かない国があったということです。当時の共産圏、ロータリーのない所はそれが行き届かない。又、それを受け入れる意思のない国もありました。その行き届かない所にポリオの病原菌が残っておりますとそこを発生地として、又世界中に広まる恐れがあるので一旦完了の宣言は致しましたが、実際はそのような訳には行かない。その為に第二期のポリオの募金が始まったということです。低開発国ではポリオ、先程の五つの病気これを自然淘汰と受け取っております。

ロータリーとしては今までやりかけたポリオプラス計画を完遂できる様に今しばらく皆様方のご協力を得たいのが現ガバナーからの要請ですのでよろしくお願い申し上げます。

卓 話

「米山月間に寄せて」



金子俊郎会員

5月に館林へ行って初めて米山に付いて勉強させて頂きました。委員長として自覚を致したところでありました。米山月間ですが、米山に付いては十二分にご存知のことと思います。

事業報告書を頂きましたのでその御紹介として、目標と実績をお話しさせて頂きます。昨年度の奨学生が1,100名居ります。寄付金の実績は普通寄付金5億1,500万円。特別の寄付金が13億8,600万円で、合計が19億100万円という状況です。前年度との比較はマイナス6%となっております。実績が落ちている状況です。

私共三条クラブは2,000万円達成クラブであります。これは40周年の時に達成をさせて頂きました。米山功労者ですが延べ37名の方がなっております。何回もされた方もいらっしゃる。米山準功労者は5名の方がいらっしゃいます。それから米山ファンドフェローは11名の方がいらっしゃいます。米山功労法人は現在3社です。先輩諸氏がご苦勞されまして達成されてこられた状況であります。2560地区の昨年度の目標が9,400万円で実績としては9,447万8千円でありますので目標達成をしております。昨年一人当りの目標が17,650円ですので当三条クラブは達成した訳ですが全体で41のクラブが達成致しまして56クラブが未達成であります。

今年度の奨学生も1,100名であります。寄付目標は一人当り17,600円です。会員数が74名として130万2,400円になります。普通寄付で3,000円ずつで22万2,000円、残りの108万円は特別寄付で集める状況になっております。現在、約80万円位不足しておりますが、集め方は工夫してやって行きたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。

